

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上中央 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 6 日		～ 令和 7 年 1 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 6 日		～ 令和 7 年 1 月 14 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 5 日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の年齢層が若い。	子ども連との共通の話題を通じて関係性を構築している。	利用者が関心があることを活動に取り入れ、意欲の向上に繋がられるように支援していきたい。
2	・個人に寄り添った支援を行っている。 ・学校、学年の隔てなく利用者同士が関わる機会が多い。	・個に合わせた関わりや個に応じたツールを手作りして提供している。 ・朝会、終会で利用者の状況を常に共有している。 ・グループ活動で相互の望ましいやり取りの学びを促している。	・個々の発達や課題解決に役立つツールの開発と更新を、今後も継続して取り組んでいきたい。
3	公園が隣接している。	・外での運動や自然観察、地域奉仕活動等を企画し、利用者のニーズに応えるようにしている。	・公園掃除等の地域奉仕活動を定期的に行っていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への支援が不十分。	職員の知識経験が浅いことから、保護者対応への不安がありフォローが不足している。	・事業所全体のスキルアップを図るため、職員の不安や悩み等を共有し、統一した支援方法を検討していく必要がある。 ・ペアレントトレーニングを企画開催を検討する。
2	送迎が多い。	・送迎に関わる学校数と自宅送迎のニーズが多い。	・送迎に関してあらかじめ保護者と相談し、協力を要請していくことを検討する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上中央 放課後等デイサービス

公表日 令和 7 年 3 月 31 日

利用児童数 令和7年1月1日 27名

回収数 24件 /25件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3	1	1	・子どもは十分と感じておりました。	限られたスペース内で安心安全に過ごせる活動等を工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	2	0	・土曜日開所するのにぎりぎりの人数 だったら申しわけないです… ・職員数が不足していると思われ ますが、いつもありがとうございます。国は もっと考えてほしいですね。	・土曜休業時にはご迷惑をおかけし ました。ご心配いただきありがとうございます。利用者・保護者の皆様のニーズにお 応えできるよう職員一同情一杯努めま す。今後ご理解とご協力をお願いします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	0	0	1	・多分なっていると思います。	・施設設備は重要事項説明書でお示し している通り、障がい者等の活動の場を想 定して建築されたものです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	1	・あまり中まで入らないので。	・毎日の清掃は欠かさずに行ってい ます。 ・保護者の方々には面談時と“見学週間” を設定し、お気軽に内見していただこう と考えています。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	22	2	0	0		・今後、研修等で職員の専門性の向上を 図りつつ、よりよい支援を目指します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	23	1	0	0		・今年度作成したばかりの支援プログラ ムですが、今までの支援の実績を踏まえ た内容になっています。よりよい支援を 目指します。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	23	0	0	1		・面談時の情報とご利用時の様子をもと にモニタリングを行って支援目標を作成 しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	23	1	0	0		・本人支援が中心になっていますが、必 要に応じてご家族への配慮や移行に伴う 支援を設定します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	0	0	・ひだまりでの活動のおかげでできるこ とが増えています。	・随時、個別支援を意図して実施してい ますが、個別支援週間として月活動計画 に位置づけて取り組みを強化します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	20	4	0	0		・担当職員をローテーションして固定化 しないような作成に努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	11	5	2	6	・ひだまりで他の誰かと接しているかは わかりません（本人は言わないので） 名前はよくききます。	・市内のアフタースクールの子どもたち を招待する企画を検討中です。
その他	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	23	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	23	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	13	6	1	4	・ペアレントトレーニング等出たことが 無かったです。	・外部の研修案内やイベントに関して は、玄関へのチラシやポスターの掲示に とどまっていた。ペアトレの開催を 検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3	0	1	・祖父母宅に送迎をお願いしているもの もあり、あまり先生たちと接する機会がな い。でも連絡帳で細かく様子を書いて下 さるので助かっています。	・連絡帳での伝達が中心で不十分さがあ るかもしれません。必要に応じて随時、 面談や電話連絡等で補っていきたく 思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	0	・無回答1 ・利用日数について色々相談したり変更したりバタバタした時期があったが、丁寧に対応して下さい感謝しています。親身になって利用者とその家族に接して下さいと感じます。	・利用者、家族の方々のニーズに少しでもお応えできるよう努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	5	2	6	・？ ・なかなか参加できずすみません… ・あまり参加できていませんが。 ・以前は保護者会にも参加して下さいたり協力あったが、法人の体制が変わってから交流の機会がかなり減ってしまったように思われます。協力しようとしてくれる職員の方々の姿勢は見られ嬉しく思いますので、以前のように協力してくれる体制になって下さると嬉しいです。	・気軽に参加していただけるような親子行事の企画を検討します。（おにぎり作り、昼食会等）
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	1		・相談の申し入れに関しては、随時必要に応じて対応いたしますので、お気軽にお申し付けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	1	・？ ・おたよりやホームページなど、いつも楽しみにしています。	・定期的に発信できるよう努めます。
	22	個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	0	1		・地域の方々にご協力をお願いするなど、避難訓練の内容をさらに充実させていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	3		・安全計画の周知が行き届いていませんでした。*中央だより”に掲載します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	0	・無回答1	・該当の際には、個別に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	0	1	・ひだまりに行くのを楽しみにしています。 ・慣れるまで時間がかかったが、気の合う友達が出来たことをきっかけに、今は楽しみにしているようです。 ・配車表を勝手に見て「先生に怒られた～」と言っていたこともありましたが、子どもに合わせて対応して下さいありがとうございます。	・個に応じた支援をさらに工夫しつつ、課題解決を促し補助する支援を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	0	・職員の方々は寄り添って支援下さり迎えに行く様子を見て下さり、ありがとうございます。 ・職員数が不足していたり、子どもたちと接することは大変だと思いますが、とても助けられています。ありがとうございます。職員の皆様、お身体お大事にしてください。	・今後も利用者、保護者の方々のニーズに寄り添った支援を充実させていきます。ご理解とご協力をお願いします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひだまり北上中央 放課後等デイサービス		令和 7 年 3 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・必要に応じて部屋を使い分けており、スペースと確保できるよう努めている。 ・機能訓練室、相談室、静養室それぞれ活用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・送迎対応で一時的に十分ではないときがあるが、概ね適切。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・事業所全体がバリアフリー化になっておりトイレも介助の為、職員が入っても十分なスペースが確保されている。 ・スペースの名称が記されていたり、段差のない環境となっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日、清掃・消毒・換気を実施している。 ・合わせた空間になっているが、利用者の人数、年齢層もバラバラなのでせまく感じる時がある為、床に仕切りのテープを貼って工夫している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・利用者の要望があった場合や気持ちを落ち着かせる為に個室を使用できるよう環境を整えている。 ・必要時に対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・その都度職員会議の議題にして共有し業務改善を図っている。 ・朝会、終会、職員会議等で話し合いを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表にて意向の把握をする機会が設けられている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝会、集会、職員会議等で話し合う場があり、その都度確認している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者による外部評価は行っていないが、内部監査、実地指導の際の助言を受け、改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・リモートや現地での研修を受けている。復命書や所感を報告し、自身の振り返りにもなっている。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・日々の様子を記録に残している。		
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援計画作成時には職員間で話し合い、検討した上で作成している。 ・事前に職員間で情報共有している。		
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援目標の一覧を作成して職員に周知し、職員会議で確認している。	・月活動計画に“個別活動週間”を設定し、全利用者の取り組みの機会を確保する。	
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・インフォーマルなアセスメントが中心になっている。	・ツールを用いたアセスメントの結果がもっと具体的に分かるようにする。 ・標準化されたツールの情報を得たい。	
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・月ごとに担当者を変えて固定化しないようにしている。 ・原案は担当者を中心に作成し、職員の意見を取り入れながら立案、実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・月ごとに担当者を変えて固定化しないようにしている。 ・毎月新しい内容の活動を立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝会・終会にて支援の確認、振り返りを行っている。 ・朝会にて内容確認し、ホワイトボードにて役割分担を提示し実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終会にて反省、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日誌、ケース記録に記録し、朝会等で口頭での話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・月毎の活動計画にそれぞれ組み入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・余暇時には遊びの選択肢を提示して自己決定の機会を提供している。 ・活動計画に取り入れている。(おやつバイキング、制作時等)	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・療育センターや保健師とロゴチャットで連携している。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6		・下校時刻表の受け取り、都度学校への電話連絡の実施ができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・今年度は該当者なし	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・今年度の該当者には実施する予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			・療育センター主催の研修には参加しているが、助言等を受ける関係性までには至っていない。併用している利用者の情報共有を含め、連絡がとりやすい関係性作りに努めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・近隣に住む子どもと公園で交流することが何度あった。 ・市内のアフタースクールの子どもたちを招待する企画を検討する。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳、口頭での情報共有を行っている。	・連絡帳等でやり取りする事で伝えあっているが、保護者さんの率直な思いを引き出す工夫がもっと必要。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・外部の研修案内やイベントに関しては、玄関へのチラシやポスターの掲示にとどまっている。ペアレントトレーニングの開催を検討する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				

保護者への説明等

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・定期的に保護者面談を行い、家族の意向を確認した上で支援内容を検討している。 ・保護者の意思の尊重、家族の意向の確認は電話で伺うことで補っている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・連絡帳、口頭にて相談を受け、担当者が対応している。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・保護者同士の会は実施していない。 ・気軽に参加していただけるような親子行事の企画を検討する。(おにぎり作り、昼食会等)
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・担当者が対応し、対策については全職員で周知、共有している。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・中央日より、ブログの活用を行っている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・配布物等のダブルチェックを心掛けている。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・敬老訪問の実施。 ・大家さんを開所記念に招待している。	・避難訓練時に地区会長の協力を要請する等、非常時に備えた地域との繋がりも検討する。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に避難訓練を実施している。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか。	6		・情報を一覧にし職員室に掲示している。	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・該当者なし ・現在該当する利用者がいないが、今後受入れられる場合は対応していきたい。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・緊急時の連絡先に関しては確認できている。一覧表にしている。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・朝会、終会で内容について共有し、対策を検討している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年3回人権擁護子エックを行い、振り返るとともに虐待防止の研修を全職員で行っている。 ・研修を受けている。定期的に振り返りを行い、内容を再確認する。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・該当者に対して適切な支援方法を検討した上で身体拘束が必要か決定している。保護者には書面と口頭で説明を行い、同意を得ている。 ・日々の状況を共有し検討している。	

非常時等の対応

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上にこっと 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を網羅し、総合的に発達を促す支援プログラムを立てている	安全、防犯、SSTなど、社会性を育てるプログラムを意識的に取り入れている。	外出活動や社会学習などの活動を取り入れ、自立に向けた体験をする機会を増やします。
2	研修に参加する機会が確保されている	研修は、偏りがなく、職員全員が参加できるようにしている。	学んだ知識を支援の場で活かせるよう、アウトプットの機会や方法について検討します。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士で交流する機会が少ない	1回のみで開催であったことや、保護者懇談会の日程が学校行事と重なってしまったことで参加できなかった方もいた。	懇談会の機会を増やし、なるべく多くの方が参加できるよう企画します。また、学校行事などにも配慮し、参加しやすい時期や時間帯を検討します。
2	具体的な支援内容についての情報提供が不足している	日々の連絡帳やおたよりなどでは、お子さんの様子をお伝えすることにとどまっていることが多い。	連絡帳の書き方やおたよりの内容について職員間で検討し、お子さんの様子がより保護者に伝わり信頼して頂けるように工夫します。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上にこっと 放課後等デイサービス

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 令和7年1月1日 28名 回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4		3	・身が狭く感じてきたこともおぼろげに感じています。 ・廊下も狭いと感じています。 ・机が狭いと感じています。 ・机が狭いと感じています。 ・机が狭いと感じています。 ・机が狭いと感じています。	・限られた空間ではありますが、お子さんが過ごしやすいように空間を分けたり、室内でできる簡単な運動などを行っています。
	2	職員の数配置は適切であると思いますか。	14	1	2	3	・もっと多ければ良い気がするが、決まりもあるでしょうし学童より多いので満足です。	・現在6名の職員体制で支援にあたっています。保護者が不安に感じないように、職員間で連携を図りながら今後も支援していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		5	・利用がまだ2回目なので、分かりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1		1	・きれいで居心地が良い所だと感じます。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			・お母様で、その日の様子や困った時の支援を詳しく教えてくれるので、とてもありがたいです。 ・お母様にもその日の様子をお話聞いて頂いて頂いて、充実しているなと感じます。	・ABAやボーンディングなどの専門的な支援手法について学び、お子さんに合わせた支援ができるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1	・利用がまだ2回目なのでわかりません。	・支援プログラムは、法人HPに公開されています。事業所の活動計画は、支援プログラムを総合的に構築した内容となっています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・そう思います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				・そう思います。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				・まだ分かりませんが恐らくそうだと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1	・工夫されていると思います。	・SSTや調理、防犯教育、外出支援、余暇支援など様々な活動を通して、自立訓練を行います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	1		7	・わかりません。	・外出活動やボランティアを通して、地域の方と触れ合う機会を作ります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19			1	・ありました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				・ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1		2	・あまり行われていないと思う。 ・まだ分かりません。	・ペアレント・トレーニングなどを学ぶ機会を継続して確保し、ニーズがあった際は対応できるよう体制を整えていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20				・思います。迎えの時や連絡帳などで、いろいろコミュニケーションがとれています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3		2	・面談時、事業所、家庭の様子を共有し、アドバイスを頂いています。 ・恐らく、これからあると思います。	・年に1回の面談は継続して行っていますが、保護者からの相談はいつでも対応できるよう体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	3			・思います。	・保護者が嬉しいや思いを話しやすいよう、連絡帳やお迎え時にお子さんの様子について共有します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	3		※3名未記入 ・まだ分かりません。 ・イベント参加を最近していないがクリスマス会が楽しかった記憶があります。	・保護者懇話会の回数を増やし、より多くの方が参加できるよう企画します。 ・父母の会のイベントについては、なるべく目に見えやすい場所に案内等を設置し、個別に声かけなどを行い周知します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		2	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。 ・急な利用でも了解して頂ける事が多い。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	1	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	・おたよりやブログを通して、活動や行事などについて発信しています。また、自己評価結果は、法人HPで公開しているほか結果について保護者に配布しています。
	22	個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1		※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	・各マニュアルは、事業所各所に常時設置していますので、いつでもご覧いただけます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	2	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	・避難訓練は火災、地震、風水害、AEDについて年4回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	2	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	※3名未記入 ・恐らくそうだと思います。	・事故等があった際は、速やかに保護者へ連絡すること、事実を分かりやすく伝えることを心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2		※3名未記入 ・子ども自身も両親も満足しています。 ・2年目になり、環境や活動の流れに慣れ安心した様子です。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		※3名未記入 ・子ども自身も両親も満足しています。 ・週1回の利用ですが楽しみにしています。 ・昼食も利用していませんが、利用していた時は楽しかったと話をしてくれます。 ・久しぶりの利用でも笑顔で帰ってくる。	・活動だけでなく、友達同士の上手な開わり方や余暇支援についても力を入れ、安心して楽しく過ごせるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1		※3名未記入 ・子ども自身も両親も満足しています。 ・いつもありがとうございます。親子で安心して利用しています。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上にこっと 放課後等デイサービス		公表日		2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・現在、職員6名体制で支援に当たっています。利用者人数や状況に応じて配置人数を調整しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・活動や特性に応じてパーティションで空間を分けたり個室を使用するなどの工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			・整理整頓、清掃を心がけ、過ごしやすい空間づくりを心がけます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・パーティションを使用したり、過ごし方によって個室も使えるようにしています。また、着替えの際はプライバシーが守られるよう個室を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・業務改善について意見を出しやすいように「相談リスト」を掲示し、職員会議等で検討しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年1回実施し、職員間で検討し業務改善につなげています。	・評価結果については、HPや文書で公開しお知らせします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・業務改善について意見を出しやすいように「相談リスト」を掲示し、職員会議等で検討しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所内の内部研修は月1回、法人としての内部・外部研修は不定期ですが、職員全員が参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ガイドラインに沿い5領域を網羅するよう作成し、HPでも公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・保護者のニーズや事業所でのアセスメント、サービス等利用計画に基づき作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個別支援会議には、児童指導員も参加しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別の支援記録ファイルを作成し、支援計画についても常時確認できるようにファイリングしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・外部のツールを使用しアセスメントを行っています。	・法人内で作成したアセスメント表も活用しながら、丁寧にお子さんの行動等についてアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿いながら、総合的に発達を促す目標を設定しています。また、支援内容は、保護者に分かりやすい表現になるように心掛けています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・輪番制で担当を決め、他職員の意見も参考にしながら計画を立てています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・ガイドラインの5領域を網羅するよう、プログラムを立てています。	・長期休みや土曜日は、調理や外出活動などを盛り込むなど、お子さんが楽しめるような活動も企画します。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・お子さんの課題に応じて、個別と集団活動を組み合わせ支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝会で情報共有をし、支援内容の確認や担当者などを決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・朝会で前日の振り返りをしています。 ・日誌に気付いたことを記入し、情報共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・利用した日は必ずケース記録を作成し、支援について振り返りをする際に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・定期的にお子さんの発達状況に合わせて支援内容を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・活動や余暇支援の中で、自己選択できる機会があります。	・自己選択できる機会を提供し、自主性や自己決定の力を育てます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関と連携する体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・年間計画や下校予定表などを頂き、必要時には連絡を取り合っています。また、学校でのトラブル等で共有すべきことは、甲所所に連絡を頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・相談事業所や保護者を通じて情報を頂いています。	・間接的に情報を頂くだけでなく、保育所等に訪問し情報を共有することで、スムーズに移行できるよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・移行先へ訪問し、本人の特性や支援内容についてお伝えしました。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・児童発達支援センターの役割を担っている子ども療育センターの心理士から助言を頂きました。また、センター主催の研修にも参加しています。	・来年度も継続して心理士相談等の機会を作ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・放課後児童クラブ等と交流はありませんが、地域の公共施設などへ外出する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・子ども支援部会と事業所部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳やお迎え時に、お子さんの様子や支援についてお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・ペアトレ等の研修案内を掲示、配布してお知らせしています。また、職員も研修に参加しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者面談の機会に確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・定期的な保護者面談以外にも、必要に応じて相談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	・カフェ式で保護者懇談会を開催しました。 ・父母の会主催のイベント等の案内は、玄関に掲示するなどしてお知らせしました。	・保護者同士が顔を合わせる機会が少ないので、今後も継続して保護者懇談会などを企画していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	・受付体制については、ポスター掲示やおたよりに記載して周知しています。苦情等があった際は、責任者を中心に迅速に対応できるよう心掛けています。	・日頃から保護者とコミュニケーションを取ることを心掛け、信頼関係が築けるよう努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	・定期的にブログやおたよりで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	・言葉でのコミュニケーションが難しい方へは、イラストやサインなどを使用して、意思確認や情報を伝えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	・イベントにボランティアなどを招待しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	・職員会議などで組み合わせを行っています。また、玄関に常時設置し、いつでも閲覧できるようにしています。 ・年1回AED訓練を行っています。	・各マニュアルについては、法人全体で定期的に見直しをかけ、お子さんが安心・安全に過ごすことができるように努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・感染症への対応訓練は、BCPに沿って今後実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	・定期的に確認し、保護者から情報を頂いています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	・指示書は頂いていませんが、保護者から情報提供して頂いています。情報をもとに一覧表を作成し、おやつ等の提供時に確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	・安全計画の内容を活動計画に盛り込み、取組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	・安全計画は玄関に設置し、閲覧できるようにしています。	・取組内容については、ブログやおたよりを通して保護者へお知らせします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	・シエルモデルを参考に検討し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	・研修に参加したり、人権擁護手チェックを定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	・支援方法については、常に職員間で協議、検討しています。	・身体拘束禁止、虐待禁止の原則のもと、お子さんが穏やかに安心して過ごせるよう、環境調整とサービスの質の向上に努めます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上☆きらり 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 23 日		～ 令和 7 年 1 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 名	(回答者数) 8 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 15 日		～ 令和 7 年 1 月 22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 名	(回答者数) 7 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者に合わせて手厚い支援の提供が出来る。	・送迎等の際保護者や学校の先生から情報を収集している。	・新しい職員への伝達をする。 ・定期的に支援内容を確認する。
2	・施設は新築の上、お風呂等も整備しおり環境設備が充実している。	・日々の環境整備と清掃チェックや送迎車の消毒、手指消毒や発熱時の別室での対応をしている。	・定期的に支援内容を確認する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の行事への参加の偏りがある。	・事業所の行事の回数が少ない。	・保護者へ事前に早めに周知する。
2	・保護者同士、兄弟同士の交流が少ない。	・感染の恐れと事業所の行事の回数が少ない。	・長期休暇中の音楽療法等に参加者の呼びかけをする。
3	・社会経験の場面が少ない、	・感染の恐れで外出が少ない。	・利用者が安心安全に参加できる環境で実施できるようにスモークステップで検討して行く。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上☆きりり 放課後等デイサービス

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 8人 (令和7年1月20日)

回収数 8枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか、	7	0	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか、	6	1	0	1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	0	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	1	・行事等は苦手で申し訳ありません。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	0	2	・私もコミュニケーションが苦手で、親同士は好きではありません、行事等は嫌いです。(学校等も)弟は別の施設です。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	1	・多分大丈夫だと思いますが、いざ起きた時が不安です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	2	・行われていると思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	・喜んで通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	・喜んで通所しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	・喜んで通所しています とても良くいただいています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上☆きらり 放課後等デイサービス				公表日	令和 7 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・布団に横になる時間をずらしたりしている。	・横になり休むスペースを確保することが難しい時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		・吸引など医ケアが必要な利用者が多い時には看護師が数名必要。 ・感染症等で職員が長期に休むと支援が難しい時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・写真を張ったり、メッセージを提示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・お昼寝などしない方は、職員室に移動してもらうなど配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・インスリン注射を打つ時など個室を使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		・業務改善の意識が低いと感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者の意向を職員全員で把握し、答えられるよう工夫している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・毎月職員会議をしているが意見が出ない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・各委員会で実施している。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		・他事業所のプログラムを参考にすることで、改善が必要と感じる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		・計画を立てる前に保護者のニーズを把握する必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援会議を行い、職員全体で話し合っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・職員全員で計画を立てる時に支援内容を確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・活動を考えるときは、他の職員に声をかけ意見をもらいながら作成している。		

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3		・支援の内容や役割分担の説明が不十分な時がある。 ・朝会などより詳しい内容と役割分担を明確にしてほしい。 ・個々の業務内容を把握できていない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・翌日に行っている。 ・翌日の朝の会で話し合っている。	・支援後の振り返りが不十分である。 ・日々の振り返りを行っていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・片寄はあるが行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・活動の計画を立てる時に内容も考え、自己決定の場面を作っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		・送迎車の位置の確認やメールの確認が遅れた時がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		・保育園や幼稚園等との情報共有や相互理解が不十分である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		・まだ対象者はいないが、その時には情報を共有したい。 ・まだ卒業する利用者はいないが、その時が来たら情報提供したい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・年に1回だがクリスマス会で他事業所の子供たちと交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・所長が出席している。	・会議に参加しているが、内容まで把握できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に保護者と日々様子を話し合って情報を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・パンフレットの提示などを行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2		・少ないので増やしていく必要があると思うが、参加を望まない保護者もいるのではないかとと思われる。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月だよりの発行とHPの更新をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・敬老会で近所の家を訪問して、プレゼントを渡している。	・少ないので増やして行く必要がある。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・定期的に避難訓練を実施している。	・BCPは作成していない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		・全員が把握できているかは不明である。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4		・該当者がいない。 ・該当者がいれば対応したい。 ・保護者からの話のみで指示書がない。 ・母からの情報のみ。 ・指示書対応が現在ない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		・周知が出来ていないので周知をしていきたい。 ・周知していない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・委員会で実施している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・定期的に職員全員で話し合い、保護者にも説明し了解を得ている。		